

【食道・胃】内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられる患者さんへ

ID: \_\_\_\_\_

患者様氏名: \_\_\_\_\_

主治医: \_\_\_\_\_

受持看護師: \_\_\_\_\_

月日(日時)	/	/	/	/	/	/
経過(病日)	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目～
達成目標	治療の流れや合併症を理解することができる。		治療部位からの出血がない(吐血症状) 疼痛がコントロールされている	治療部位からの出血がない(吐血症状) 疼痛がコントロールされている	治療部位からの出血がない(吐血症状) 疼痛がコントロールされている	治療部位からの出血がない(吐血症状) 疼痛がコントロールされている 退院後の日常生活が不安なく迎えることができる。
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	現在飲んでいるお薬を確認させていただきます。 ※医師の指示に従い、血液さらさらにするお薬(抗凝固薬)は中止となります。 ____月 ____日から中止。	検査着に着替え、点滴をします。治療の時間がきたらお知らせします。	帰室後、胃酸を抑える点滴をします。夕よりアルロイドG内用液(胃粘膜保護剤)の内服が開始されます。		食事の状況により、点滴が終了となります。	医師の診察で問題がなければ退院となります。
処置		処置中、鎮痛剤の作用により意識が低下する可能性があります、時間とともに改善します。		<b>胃痛や吐き気が起きた場合には、我慢せずに看護師にお知らせください。</b>		
検査				血液検査を行います 		
活動・安静度	活動制限はありません。	車椅子で内視鏡室へ移動します。	治療後、ストレッチャーで帰室します。2時間は症状安静となります。			
食事	夕食まで通常通りお召し上がりになれます。	食事をとることができません。内服する際に少量の水分は飲水可能です。	治療後2時間経過し異状なければ、水やお茶などの水分を飲水できます。		問題なければ5分粥食より食事開始となります。	以後1日ごとに食上げとなります。
清潔	シャワーを浴びれます。				異状がなければシャワー浴ができます。	
排泄	特に制限はございません。		治療後2時間は症状安静となるため尿瓶などで対応します。		特に制限はございません。	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ指導 栄養指導 服薬指導	この用紙をもとに看護師が治療や検査の説明をさせていただきます。 治療の同意書をお持ちの方は看護師にお渡しください。				退院までに栄養指導を受けていただきます。	栄養指導で受けた食事内容に注意して生活してください。 アルロイドG内用液は飲みきり終了となります。 退院後、気になる症状がある場合は相談してください。

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
Tel: 0296-77-1121 令和5年7月作成

注1 病名は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

説明を受けた日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

説明を受けた方の氏名 \_\_\_\_\_ (続柄: \_\_\_\_\_)